

## 出版

# 電子書籍管理で共同開発

メディアアドクトと光和コンピュータは5月11日、電子書籍の売上印税管理システム「PUBN-AVER（パブリッシュアベール）」を開発し、11月に本格サービスインすると発表した。サービスイン後は紙書籍の売上印税管理などの機能拡充に取り組み、本格的な「出版ERP（出版社向け基幹システム）」へと発展させていく。ネット環境があればどこでも利用でき、中・小規模の出版社にも安心に導入できるSaaS型で提供する。

メディアアド・光和コンピューター

「PUBN AVE」は紙よりも復雑な電子書籍の印刷処理を正確に行い、さらに紙書籍と合わせた支払組の作成なども可能な出版社の事務作業効率化とコスト削減を実現するサービス。

「[電子書籍印税]」などの機能を備え、連携できるほか、確定値だけでなく速報値でも売上分析が可能。

## 11月に本格サービスイン

対応に努めていた。今後は電子書籍の販売・印刷量に続き、紙書籍の販売・印税管理、制作管理、著者向けの報告サービスなどの機能も拡充し、本格的な「出版ERP」に発展させよう。

光和コンピュータは創業から30年にわたり出版社300社以上に出版社向け基幹システムやサーバーを提供してきた。一方、メディアワークグループは今年2月に北玄出版社ERPシステムを50社以上に提供しているPirebrand and Groupを買収した。

# 紙と電子の出版「ERP」目指す

